

河川整備計画(原案)に対する 関係住民の意見の聴き方(案)

5月21日意見照会における意見への対応について

NO.	発言委員	該当箇所	内容	対応状況
＜住民意見聴取周知チラシへの意見照会＞				
1	小松委員	表面 ＜表題＞	「みなさんの川づくりへの想いをお聴かせください」に変更して欲しい。	ご意見の通り修正する
2	小松委員	表面 ＜閲覧場所住所＞	堺市堺区新町・・・ 堺市堺区香ヶ丘町・・・ に修正	ご意見の通り修正する
3	小松委員	裏面 ＜申し込み用紙の参加内容＞	・・・意見・質問・・・	ご意見の通り修正する
4	黒田委員	裏面 ＜案内ビラ裏面の上部の流域地図について＞	「大和川水系河川整備計画(原案)では、下記の範囲を対象としています。」を ↓ 「大和川水系河川整備計画(原案)では、 直轄管理区間 である下記の 青線 の範囲を対象としています。」に修正。	ご意見を踏まえ、修正する
5	小松委員	＜全体＞	実務的な案内になっているように思うので。 ・住民の意見を反映して、よりよい川づくりをすすめる立場を明記 ・「安全安心できれいな大和川へ」・・・ぐらいは、呼びかけに入れてもよいのでは？ ・住民代表や学識経験者による大和川流域委員会で意見反映の努力をしてきたが、さらに直接住民の声や願いを届けていただきたい・・・というような立場も。	ご意見を踏まえ、以下のように文章の追加・修正を行う。 ＜表題＞に「安心・安全できれいな大和川を目指して！！」を追加し、 ＜副題＞を「より良い大和川水系河川整備計画の策定を目指し、流域住民の皆様のご意見をお聴きするための公聴会を実施します」に修正 ＜河川整備計画とは＞を「概ね30年間の具体的な河川の整備内容を定めている計画です。流域委員会や公聴会等を開催し、流域住民の皆様、学識経験者、府県、市町村のご意見を反映させることで、より良い河川整備計画を策定を目指しています。」に修正。 ＜公聴会とは＞を「大和川流域委員会で議論してきた河川整備計画(原案)に対して、より多くの方々の想いを整備計画に反映させるために、河川管理者からの説明により内容をご理解頂き、みなさんのご意見を直接お聴きかせいただく場が公聴会です。」に修正
＜大和川流域委員会のリーフレットへの意見照会＞				
1	米田委員	＜委員会メンバー＞	委員会メンバーに関し、表現を他の方と合わせるため、 「 米田 稔(京都大学大学院工学研究科教授/水質、土壌汚染、環境、リスク解析) 」 ぐらいにしたいかがかと思えます。	ご意見の通り修正する
2	小松委員	＜大和川流域委員会とは＞	背なかが目立つ写真を、もっとよいものにかえてほしい。	ご意見の通り修正する。
3	小松委員	＜大和川周辺の魅力・見どころ＞ A住吉祭・神輿渡御祭	住吉祭の・・・4行目 …祭場を駆け抜けます・・・この表現は？？？ やがて・・・の部分。 神輿は、川のまん中で大阪側から堺側に渡されると思いますが・・・。	ご意見の通り、以下のように文章を修正する。 「住吉祭の神輿渡御は、昔から大和川の水と親しんできた住民の喜びと祈りのお祭りです。 「ペーら」のかけ声とともに繰り返し神輿を差し上げながら、紀州街道を大阪市の住吉大社から堺市の宿院頓宮まで練り歩きます。途中、大和川の河中を渡る光景は大阪夏祭りを締めくくるにふさわしい、とても壮観な光景です。」
4	小松委員	＜大和川周辺の魅力・見どころ＞ B治水記念公園	B 大昔から⇒昔から	ご意見の通り修正する。
5	小松委員	＜大和川周辺の魅力・見どころ＞ E稗田環濠集落	E 稗田環濠集落 ひえだのルビ・・・ 周囲を壕に⇒周囲を濠に 6行目・・・少しずつに⇒少しずつ	ご意見の通り修正する。
6	小松委員	＜大和川周辺の魅力・見どころ＞ H与喜山暖帯ライン	5行目 対称的⇒対照的	ご意見の通り修正する。
7	小松委員	＜大和川周辺の魅力・見どころ マップ＞	③矢田地区大和川河川敷自然公園だけわざわざ載せているのはなぜですか？	ご意見を踏まえ、掲載箇所の見直しを行った。
8	小松委員	＜大和川周辺の魅力・見どころ マップ＞	矢田はもっと東で大和川の右岸	—
9	小松委員	＜大和川周辺の魅力・見どころ マップ＞	⑭羅城門遺跡⇒羅城門跡 ? (ご検討を)	ご意見の通り修正する。

5月21日意見照会における意見への対応について

NO.	発言委員	該当箇所	内容	対応状況
10	小松委員	<大和川周辺の魅力・見どころ マップ>	⑭はもっと東？	ご意見の通り修正する。
11	小松委員	<大和川周辺の魅力・見どころ マップ>	・佐保川「水辺の楽校」 ・楽しいんやさかい大和川水辺の楽校エリア ・大依羅神社 を追記	ご意見の通り、「水辺の楽校(佐保川)」、「楽しいんやさかい大和川水辺の楽校」、「大依羅神社」を追加する。
12	小松委員	<裏面 タイトル>	「大和川の未来を考えます」は表面と同じタイトルなので、もう少し流域委員会で一致するフレーズにしたい。	ご意見を踏まえ、以下のように修正する。「明日の大和川をまじめに考えています」
13	小松委員	<設立準備会>	設立準備会の開催年月日たしかめを	ご意見の通り修正する。
14	小松委員	<現地視察会>	2回の現地視察は、行った箇所の主な場所を書いてほしい (堺三宝～亀の背～大和郡山)など	ご意見の通り、視察箇所を追加した。
15	小松委員	<第3回流域委員会>	「川が生活の場だったように、子どもが遊び、泳げる川を復活することが必要。大和川の歴史や文化を大切にしたい。」に修正。	ご意見の通り修正する。
16	小松委員	<第4回流域委員会>	「長い歴史の中で、生物は上流の石のところ、砂のところ、岸辺などにすみ分けてきた。…」に修正	ご意見の通り修正する。
17	小松委員	<第7回流域委員会>	「巨視的に見れば」のフレーズは不要。	ご意見の通り修正する。
18	黒田委員	<第8回流域委員会>	最終行の……川づくりということができない。の次に「1984年に亀の瀬バイパス案が検討されている」を追加か、新たに項目立てて記述する。	ご意見を踏まえ、以下のように修正する。 「危険なゴミの除去や土砂の堆積、亀の瀬の地すべりによる河床の隆起の問題も含め、川底の対策をとらないと、治水の上でも安全な川づくりということができない。また、1982年の水害の後、亀の瀬の狭窄部に地下トンネルを造って流すことを検討しているの、それについても踏まえる必要がある。」
19	小松委員	<第8回流域委員会>	「十分に」のフレーズは不要	ご意見の通り修正する。
20	黒田委員	<第9回流域委員会>	委員会の意見として……以下4行全文削除。 理由:直接住民のPRパンフには関係のないことで、逆に平易な表現が求められているのですから 削除した代わりに、流域委員会ニュースNO.3のP2の右下から2行目を少し文章を変えて入れる。 「子供が安心して遊べる川を目指すという点では、糞便性大腸菌群の起源を明らかにすることを意見として加えたい」	ご意見を踏まえ、第9回流域委員会の文章を以下の2つとした。 「○流域委員会は河川整備計画について意見を申し上げるという立場であり、河川整備基本方針に関して踏み込むことはないと考えている。また、河川の横断的な形状に関しては大事なファクターだと思う。 ○子どもが安心して遊べる川を目指すという点では、糞便性大腸菌群の起源を明らかにする必要があるのではないか。」
21	黒田委員	<第9回流域委員会>	最終行「河川の横断工に関しては」、横断工は住民には分かりませんので、「河川の水をせき止める堰堤や橋などに関しては」とす	同上
22	小松委員	<第9回流域委員会>	1行目おわりから「学術的にもきちんと……」 「概念とか文学的な……排除して」のフレーズは不要 最後 「河川の横断形」専門用語で意味がわかりません	同上
23	小松委員	<第11回流域委員会>	最後 近世大阪の資本蓄積や文化にも大きな意味を持っている	ご意見の通り修正する。
24	黒田委員	<第12回流域委員会>	Cプロジェクトといっても、住民はびんと来ないので、「水質浄化のためのCプロジェクト」と追加する。	ご意見の通り修正する。
25	小松委員	<第12回流域委員会>	子供⇒子ども、 清掃だけで……、 ……モラルの問題なども提起…… に修正	ご意見の通り修正する。
26	黒田委員	<第13回流域委員会>	[堤防の耐震性の調査と地震対策を明らかにすべきである。]を追加する。	ご意見を踏まえ以下の文章を追加する。「大和川における堤防の耐震性の調査と地震対策についてどのような調査・設計を行っているか教えて欲しい。」
27	小松委員	<第13回流域委員会>	……年々小さくなって…… に修正	ご意見の通り修正する。
28	小松委員	<第14回流域委員会>	……離れており、両所…… に修正	ご意見の通り修正する。
29	小松委員	<第15回流域委員会>	……歴史を踏まえた……(わかりにくいように思う)	ご意見を踏まえ、以下のように修正した。「堺の港の評価には、歴史的な部分を外すことはできないので、河口の評価の部分は歴史を踏まえてうえで、記述の仕方を検討していただく

安心・安全できれいな大和川を目指して!!! みなさんの川づくりへの 想いを聴かせ下さい。

より良い大和川水系河川整備計画の策定を目指し
流域住民の皆様のご意見をお聴きするための公聴会を実施します

大和川コンクール入賞作品

河川整備計画とは？

概ね30年間の具体的な河川の整備内容を
定めている計画です。
流域委員会や公聴会等を開催し、流域住
民の皆様、学識経験者、府県、市町村のご
意見を反映させることで、より良い河川整
備計画を策定を目指しています。

公聴会 開催場所(4会場で実施)

堺 市 ○○○○ホール 0月00日00:00~00:00
柏 原 市 ○○○○ホール 0月00日00:00~00:00
王 寺 町 ○○○○ホール 0月00日00:00~00:00
大和郡山市 ○○○○ホール 0月00日00:00~00:00
(詳しくは、裏面をご覧ください。また、傍聴には事前申し込みが必要です。)

公聴会とは??

大和川流域委員会で議論をしてきた河川
整備計画(原案)に対して、より多くの方
々の想いを整備計画に反映させるために、河
川管理者からの説明により内容をご理解頂
き、みなさんのご意見を直接お聴きかせい
ただく場が公聴会です。

◆大和川水系河川整備計画(原案)は下記場所で閲覧・配布しています。また、ホームページにおいても公開しています。

● ホームページ <http://>

● 閲覧・配布

右記以外にも、市
町村の各担当課で
も閲覧することがで
きます。

閲覧・配布場所	住 所	閲覧・配布場所	住 所
大和川河川事務所	藤井寺市川北3-8-33	大阪府 ○○○○○	○○○○○
大和川河川事務所亀の瀬出張所	柏原市大字峠	奈良県 ○○○○○	○○○○○
大和川河川事務所大和川下流出張所	堺市堺区新町3-7小森ビル8F		
大和川河川事務所堺出張所	堺市堺区香ヶ丘町5-9-30		
大和川河川事務所王寺出張所	王寺町王寺1-13-8		

◆大和川水系河川整備計画(原案)に対するご意見・ご質問は下記方法でも受け付けています。

● 郵 送・FAX 住所・氏名等をご記入の上、大和川河川事務所調査課までご送付下さい。(宛先:裏面参照)

● ホームページ <http://>

大和川水系河川整備計画

検索

■ご提供頂いた個人情報は、河川整備計画策定以外の目的に利用することはありません。 ■寄せられたご意見等は、関連HP等に公表させて頂く場合がございます。

国土交通省 近畿地方整備局 大和川河川事務所 TEL:072-971-1381 FAX:072-973-3967

より良い大和川水系河川整備計画の策定を目指し
流域住民の皆様のご意見をお聴きするための公聴会を実施します

◆大和川水系河川整備計画（原案）では、国管理区間である下記①の範囲を対象としています。



◆公聴会は、下記4会場での範囲を対象としています。

0月00日
00:00～00:00
堺市
〇〇〇〇ホール
〇階 大会議室
〒000-000
堺市〇〇〇〇〇0-0-0

堺市 会場
位置図

0月00日
00:00～00:00
柏原市
〇〇〇〇ホール
〇階 大会議室
〒000-000
柏原市〇〇〇〇〇0-0-0

柏原市 会場
位置図

0月00日
00:00～00:00
大和郡山市
〇〇〇〇ホール
〇階 大会議室
〒000-000
大和郡山市〇〇〇〇〇0-0-0

大和郡山市 会場
位置図

0月00日
00:00～00:00
王寺町
〇〇〇〇ホール
〇階 大会議室
〒000-000
王寺町〇〇〇〇〇0-0-0

王寺町 会場
位置図

公聴会 申し込み用紙

住所・氏名・所属・電話番号を記入の上、下記宛先まで郵送またはFAXでご送付下さい。
また、下記URLよりホームページからの申し込みもできます。

FAX申込用紙(FAXで申込場合、切り取らずこのまま送信してください。)

FAX: 申込先072(973)3967

お名前	フリガナ	所属
参加内容	<input type="checkbox"/> 流域住民の代表として意見・質問を発表 <input type="checkbox"/> 傍聴のみ	ご住所
		連絡先 TEL:

● 郵 送 〒583-0001 大阪府藤井寺市川北3丁目8番33号 大和川河川事務所 調査課 行

● F A X 大和川河川事務所 調査課 (FAX072-973-3967)

● ホームページ 大和川河川事務所 HP (<http://>)

大和川河川整備計画（原案）や公聴会に関するご質問は
国土交通省 近畿地方整備局 大和川河川事務所 までお問い合わせ下さい。
TEL:072-971-1381 FAX:072-973-3967 ホームページ: <http://www.kkr.mlit.go.jp/yamato/>



E 梶田環濠集落 大和平野に多く造られた、周囲を囲まれた集落の遺構の一つです。戦国の争いのなかで農民たちが自衛のために造った施設であり、また農業水利の便を図るためのものであったと考えられています。一時的に雨水をため、少しづつ川に流し込むという、治水の役割も果たしていました。

F 高田川畔の千本桜 大和川の支川、高田川では堤防防いの桜並木が市民の憩いの空間として親しまれています。昭和23年に植樹された桜並木が今日では「千本桜」に成長し、住民のお花見や散歩のコースになっています。また、水辺プラザ整備事業による親水空間の整備も進み、環境学習や安らぎの場にもなっています。



G 曾我川治水緑地 曾我川の中流部で治水と浸水被害の軽減を目的に整備された遊水池。周辺の緑地は住民から都市公園としても利用されています。大和平野での大規模な遊水池計画は初めてであり、貯留型の治水計画を進めていく上で、今後の指針となっています。親水施設等も整備され、環境学習に最適です。



H 与喜山暖帯林 大和青垣国定公園北部の春日山と高円山、南部の天神山と高輪山は、それぞれ原始林と二次林の対照的な植生を持っています。このうち、天神山は昔から長谷寺の寺領として伐採が繰り返されてきたため、原生林が鬱蒼と茂り、「与喜山暖帯林」として昭和32年に天然記念物に指定されました。



I 吉野川分水 吉野川は水を奈良盆地に送る「吉野川分水」は住民の秘蹟でした。願いは1987年に完了した大工事で実現しました。大淀町下湖からトンネルを通して吉野川の水を奈良盆地に送る。これが吉野川分水です。御所市から東側と西側に分かれる分水工を掘削して盆地内に水が送られています。

「大和川流域委員会」とは

国土交通省では、平成9年の河川法改正に伴い新たな「河川整備計画」を策定することになりました。同省近畿地方整備局は、今後概ね30年間の具体的な河川の整備の内容を示す河川整備計画を策定するにあたり、学識経験者等から、意見を聞くため各水系に「流域委員会」を設け、大和川では平成16年に「大和川流域委員会」を設立しました。大和川流域委員会は「大和川水系河川整備計画（原案）」の策定にあたり次のことを行います。

- (1) 河川整備計画の原案について意見を述べる
- (2) 関係住民意見の聴き方について意見を述べる



委員会メンバー（50名順、敬称略）【※平成22年4月1日現在】

- 伊藤忠通（奈良県立大学地域創造学部教授／経済）
- 井上和也（京都大学名誉教授／河川工学）◎委員長
- 沖村 孝（神戸大学名誉教授／地盤工学）
- 荻野芳彦（大阪府立大学名誉教授／農業水利、水資源環境工学）
- 加我宏之（大阪府立大学大学院生命環境科学研究科准教授／緑地計画、景観計画）
- 黒田伊彦（大阪樟蔭女子大学講師／歴史、教育、地域活動）
- 小松清生（堺市立東浅香山小学校教育専門員／教育、歴史）
- 椎葉幸晴（京都大学大学院工学研究科教授／水文学、水資源工学）
- 千田 稔（奈良県立図書館情報館長／歴史地理学）
- 谷 幸三（大阪産業大学人間環境学部生活環境科学科非常勤講師／水生生物の分類と生態、環境教育）
- 中川 一（京都大学防災研究所流域災害研究センター河川防災システム研究領域教授／治水；土砂移動）
- 仲川政成（橿原市五井町総代／地域の歴史、地域活動）
- 前迫 ゆり（大阪産業大学大学院人間環境学研究科教授／植物生態学、保全生態学）
- 森下郁子（社団法人 淡水生物研究所所長／生態系）
- 山下 淳（関西学院大学法学部教授／法律）◎委員長代理
- 米田 稔（京都大学大学院工学研究科教授 水質、土壌汚染、環境リスク解析）
- 和田 萃（京都教育大学名誉教授／日本古代史）

ホームページと広報誌のご案内

大和川流域委員会の活動はホームページと広報誌「大和川流域委員会ニュース」でご覧いただけます。「大和川流域委員会ニュース」は、ホームページ「ニュースレター」のコーナーからダウンロードできます。



<http://www.kkr.mlit.go.jp/yamato/iinkai/>
 <お問い合わせ>
<http://www.kkr.mlit.go.jp/yamato/consult/>
 【※表紙写真は和和川コンクール入賞作品】

大和川の未来を考えます



大和川周辺の魅力・見どころ

A 神輿渡御祭 住吉祭の神輿渡御は、昔から大和川の水と親しんできた住民の喜びと祈りのお祭りです。「べーら」のかけ声とともに繰り返し神輿を差し上げながら、紀州街道を大阪市の住吉大社から堺市の宿院稲宮まで練り歩きます。途中、大和川の河中进行る光景は大変祭りを締めくくるにふさわしい、とても壮観な光景です。



B 治水記念公園 昔から洪水の絶えなかった大和川。江戸時代に、その解決のため大和川の流れを変える付け替え工事に尽力を尽くしたのが庄屋である中基兵衛でした。現在治水記念公園があり、墓所を動かした中基兵衛の像が建てられています。



C 瀬と濁浄化施設 瀬と濁浄化施設は、川の持つ自然浄化作用を利用します。瀬で礫を水に溶け込ませ、瀬で汚れを沈殿させます。瀬の石には微生物が付着し、その微生物が汚れを分解します。大和川下流の各所に設けられており、その泳いげな様子から、付近を散策する人の姿も多く見られます。



D 亀の瀬狭窄部 亀の瀬は大阪府と奈良県の境にある深谷で、古くから地すべりが多く発生しています。しかし、水際まで河畔林が覆う景観は美しく変化に富んでいます。その下流部には平瀬や砂州が形成され、水と緑が豊かな貴重な空間であり、その高水敷は多くの人が楽しむ憩いの場となっています。



大和川流域委員会

明日の大和川をまじめに考えています

こんなことを話し合ってきました
いくつかのご意見を紹介します

流域委員会設立会

日時：平成16年5月29日(土) 17時00分～17時45分
場所：天王寺東映ホテル

第1回 流域委員会

日時：平成16年5月29日(土) 18時00分～19時46分
場所：天王寺東映ホテル

第2回 流域委員会

日時：平成16年8月25日(水) 15時00分～17時50分
場所：奈良県新公会堂

- 大和川は日本の原点のような川なので、河川整備計画では歴史的な特徴が感じられる川づくりが課題。
- 治水・利水・歴史について現地体験できる流域全体のサイトミュージアムを提案したい。

大和川流域委員会「現地視察会」

日時：平成16年9月28日(火) 9時30分～16時30分
場所：大和川直轄管理区間

河口部、高規格堤防(大和川戦地区、湊香付近、河川浄化施設、大和川付け替えポイント、国分地区)
亀の瀬狭窄部、亀の瀬地すべり、安堵町・河合町付近
曾我川浄化施設、大和川・佐保川合流付近、大和郡山市付近、稗田環濠集落、佐保川直轄上流端
総合治水対策(雨水貯留浸透施設、羅城門跡)

第3回 流域委員会

日時：平成16年11月29日(月) 13時00分～15時50分
場所：梅田センタービル

- 水辺の国勢調査のデータを提供してほしい・遊楽植物の問題等、データで判断する必要があるが、河川側の整備をあまり進めてもらいたくない。
- 川が生活の遊び場だったように、子どもが遊び・泳げる川を復活させることが必要。大和川の歴史や文化を大切にしたい。

第4回 流域委員会

日時：平成17年1月28日(金) 9時30分～12時30分
場所：大阪厚生年金会館 ウェルシティ大阪

- 川の生物相は源流の姿を反映するが、大和川は付け替えられた時点で清流がもつ生物本来の姿から変えられており、歴史と人がつくってきた川ということが興味深い。
- 長い歴史の中で、上流の石のところ、砂のところなどにすみ分けられてきた。多自然工法などの場合でも、工事する地点に本来どういう生物がすんでいたかを調べて、それに即したもとのするべき。

第5回 流域委員会

日時：平成17年3月14日(月) 13時00分～16時00分
場所：王寺地域交流センター リーベル王寺

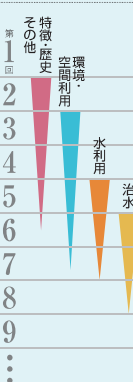
- 圃場整備は水路のコンクリート化で浄化機能が失われている点に留意する必要がある。
- 環濠集落特有の「講堤」が不用意に壊されることが多くなっている。奈良盆地特有の治水を考えるうえで、洪水を遊水させる講堤を再認識する必要がある。

第6回 流域委員会

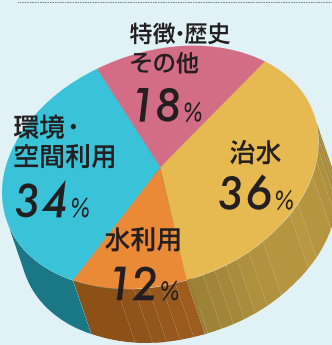
日時：平成17年6月14日(火) 15時00分～18時00分
場所：王寺地域交流センター リーベル王寺

- アユモドキ、ホトケドジョウ等は川と水田を行き来し、水田のところで散乱する魚類。昔は川と水田のつながりがあったが、今は行き来がしにくくなっている。
- 治水的に見て、奈良県側と大阪府側では川の性格が違う。特に王寺から上流は河川網のようになっており、治水の方法も形態が変わると思われる。大和盆地で実施されている総合治水の具体的な内容、施策について具体例や写真等を見せて欲しい。

各回の主要テーマ



発言のテーマ別割合



※整理条件
●主に情報の共有化段階(第2～8回委員会)における委員発言を対象 ●委員会中の発言も対象 ●意見総数201

いよいよ終盤です

今後、みなさまからの
ご意見をうかがいます



第7回 流域委員会

日時：平成17年9月1日(水) 15時00分～18時00分
場所：大阪厚生年金会館 ウェルシティ大阪

- 大和川では、緊急対策時に河川敷を利用する物資移送等の道路計画がどの程度考えられ、実行されているか。
- 亀の瀬の地すべりと奈良盆地を流れる階河川が全部集中して、本川に注ぎ込むことが、大和川における治水のウィークポイントだと思う。

第8回 流域委員会

日時：平成17年10月14日(金) 15時00分～18時00分
場所：大阪厚生年金会館 ウェルシティ大阪

- 治水において、ソフトとハードの組み合わせが大事だと思う。
- 危険なゴミの除去や土砂の堆積、亀の瀬の地すべりによる河床の隆起の問題も含め、川底の対策をとらないと、治水の上でも安全な川づくりということができない。また、1982年の水害の後、亀の瀬の狭窄部に地下トンネルを造って流すことを検討しているため、それについても踏まえる必要がある。

大和川流域委員会「現地視察会」

日時：平成17年11月22日(火) 9時30分～16時30分
場所：大和川直轄管理区間

瀬と淵浄化施設、石川合流点(白シの群生)、石川河川公園、竹内峠(金剛山系の植生の状態)、槻井市金屋河川公園、長谷寺(榎葉樹林の様子)、初瀬ダム周辺(植生管理の状態)、唐古池(溜池)、御幸橋(富雄川の大和川との合流点)、富雄川、東生駒川総合浄化施設及び竜田川との合流点]

第9回 流域委員会

日時：平成17年12月21日(水) 9時30分～12時30分
場所：奈良県文化会館

- 流域委員会は河川整備計画について意見を申し上げるという立場であり、河川整備基本方針に関して踏み込むことはないと考えている。また、河川の機能的な形状に関しては大事なファクターだと思う。
- 子どもが安心して遊べる川を目指すという点では、養魚性大規模群の起源を明らかにする必要があるのではないかと。

第10回 流域委員会

日時：平成18年2月15日(水) 13時00分～16時00分
場所：奈良県文化会館

- 我々は河川整備計画の原案に対して意見を申し上げる立場であり、今日の骨子案はその叩き台に至るまで前段階の端緒という具合に考えている。
- 大体の意見は出たので、さらに実際のデータをこの骨子案に基づいて記載していただいて、それについて議論した方が前へ進んでいくのではないかと。

第11回 流域委員会

日時：平成18年5月15日(月) 15時00分～17時55分
場所：大阪YMCA国際文化センター

- 水質関係ではBODだけではなく、濁度、窒素分、大腸菌群なども入ってくると思う。
- 大和川の付け替えは洪水対策だけでなく、近世大阪の資本蓄積や文化にも大きな意味を持っている。

第12回 流域委員会

日時：平成19年2月23日(金) 13時00分～15時35分
場所：王寺地域交流センター リーベル王寺

- 市民や子どもたちとともに活動し、教育・研究分野の活性化を図っていくことを、水質浄化のためのCプロジェクト計画の中しっかり位置づけてもらいたい。清掃だけで川がきれいになるとは思えない、企業の生産の場所から始めてゴミを減らすことや、ゴミを捨てないというモラルの問題なども提起すべきである。
- Cプロジェクトが流域委員会と連携していない。河川整備計画と整合して進めていくことが大事。

第13回 流域委員会

日時：平成21年2月27日(金) 9時30分～12時00分
場所：大阪厚生年金会館 ウェルシティ大阪

- 遊水機能の低下などにより支川から本川への流入が早くなり、降雨量の最高値と河川流量の最高値の時間差は年々小さくなっている。雨水貯留・浸透施設の計画の数値を住民協力により上げる必要がある。
- 大和川における堤防の耐震性の調査と地盤対策についてどのような調査・設計を行っているか教えて欲しい。

第14回 流域委員会

日時：平成21年3月25日(水) 9時30分～12時00分
場所：奈良県新公会堂

- 大阪と奈良は離れており、両所において公聴会を開くということをも具体的考えて欲しい。公聴会は利害関係や意見を持っている人は参加するので、今後も続けて欲しい。
- 関係住民の意見の聴き方について、いつ何をどうするかという具体的なものがほしいと議論したい。

第15回 流域委員会

日時：平成21年9月18日(金) 13時00分～16時00分
場所：大阪YMCA国際文化センター

- 大和川の自然の状態について、目標につながる評価があった方がよいのではないかと。
- 堤防の港の評価には、歴史的な部分を外すことはできないので、河口の評価の部分は歴史を踏まえてうえで、記述の仕方を検討していただきたい。

第16回 流域委員会

日時：平成21年12月16日(水) 9時30分～12時40分
場所：生駒市コミュニティセンター

- 大和川の治水計画は、奈良県の指定区間と本川との関係の整合がないと絵にかいたもちになる。奈良側との考え方を整理していただきたい。